

## 「3・8国際女性デー 第48回道南地区集会」開催される

一日中降り続く雨足が激しくなってきた3月8日18:30、函館市大森町「サンリフレ函館」において、『3・8国際女性デー 第48回道南地区集会』が行われました。

先週の土曜日（3/3日）には、連合女性委員会を軸とする実行委員会独自の街頭宣伝活動も行われ、一般市民に対する広がりを求める行動も積極的に行ったのが功を奏したのか、会場は60名を超える参加者で賑いを見せていました。

開催冒頭挨拶に立った田嶋実行委員長（連合女性委員会委員長）は、国際女性デーの意義に触れるとともに、「今回の企画においてコミュニケーションをより円滑に行うためのグループディスカッションを取り入れた。今後の活動に生かしてほしい」と参加者に訴えました。



今日までの開催された歴史の中での基調講演は、比較的堅いイメージの題材が多く、話す側の一方通行であったが、今回のテーマは《色は心を映し出す鏡》とし、～ストレスを軽減する色彩心理の使い方～を題材として部外講師による講演を設定となりました。

カラーライフコンサルタント・福田るみ子さんからは、色を選ぶことで心の状態が理解でき、集中力を養ったり、行動力アップに結び付くことや、子供の教育にも色育として使われていること、更には職場におけるコミュニケーションづくりに役立つことが話され、参加者は初めて聞く内容に興味津々で聞き入っていました。

様々な視点から色と心、色が織りなす環境と条件の中での変化、色が表すメッセージ等々が細かく分析され、これらを理解しようとする中で様々な活動に幅広く活用が図られることが参加者に伝えられました。



講演を受けた後はグループディスカッションへ。4名から7名の班で基調講演の題材でもある「ストレス」をテーマに、どんな時に感じ、どのように解消しているのか等々を班全体で話し合い、代表者が発表する形式で行われました。不平や不満や不安や、ストレスを感じるのは様々なケースがあり、その解消方法も飲酒であったり、ゲームであったり、友人同士の語りであったりと多種多様ですが、仲間同士が一つのテーマでお互いに意見を述べ合い、方向性を見出す営みは、職場内においても、友人同士であっても重要なことであり、今回の企画を通じて、何かを感じ取ってもらえていれば、開催の意義も大きなものに結び付くものと思われまます。

集会の最後は「集会アピール」。様々な経過をしっかりと踏まえ、今次春季生活闘争を通じて「男女間賃金の格差是正」「男女平等の推進」「育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備」等の実現に向けて取組みをより一層強化していくや、男女平等参画社会の実現に向けて全力を傾注することを確認し、今年度の集会を終えました。